

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

| | |
|----------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 学校通信 ひがしやま 第69号 | 発行日 令和6年12月19日(木) |
| | 発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明 |

○あなたにピッタリの偉人は・・・。



5年生の国語「伝記」の授業。司書の石橋さんが、読書好きを増やそうと、児童11人に「あなたにピッタリの歴史上の人物」として、市立図書館から借りてくるなどし、それぞれに偉人の「伝記」を選書してくれました。(画像 付箋には児童の名前)ちなみに担任の後藤先生は「サリバン先生」。

子どもたちのことをよく知っているからこそ、できる取組です。ここはいろんなきっかけで溢れています。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○別府市社会福祉協議会主催「盲導犬との生活」(12/18)。

園児と児童が実際に盲導犬と暮らしている方から、その日常生活などについて説明を受けました。子どもたちは、アイマスクを着用、白杖を使用し、ペアで体育館内を歩行するなどの体験をしました。了解を得て、多くの子どもたちが盲導犬に触れることもできました。説明では、大分県にいる盲導犬は6頭。訓練場は九州には福岡県に1か所のみとのことでした。



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

○県立久住高原農業高校 佐藤智之校長のお話(12/18)。

PTA主催「放課後文化クラブ」で、「特色ある高校を学ぶ」機会として、校長からは、就農従事者の危機的な減少、可能性が広がる農業の未来及びご自身の子どもの頃の様子など貴重な話を伺いました。参加者の感想などあらためてご紹介します。

次回は県立爽風館高校(通信制・定時制三部制)石井校長を予定しています。通信制高校は、全国で生徒数が29万人を超え、学校数は303校と、いずれも過去最多。注目が集まっています。大分県の現状と卒業後の状況など伺う機会です。